

## 【 心臓外科 】教育進行過程

※一人で役割を付けることができるレベルを「達成の評価」とする

器械出し 6ステップ		STEP1-①		STEP1-②	STEP2	STEP3	STEP4-①	STEP4-②	STEP5	STEP6-①	STEP6-②
目標	清潔操作の理解と器械展開ができる	ドレーピングから心膜切開、ITA剥離、閉胸ができる		正中切開のカニューレーションができる	AVR (partial sternotomy含む) OPCAB デカニューレーションができる	脳分離やFe送血、Fe脱血ができる MVRができる	術前の検査などから必要な手術の内容が準備できる	術中に起こり得るリスクや変化に対応することができる	常に医師とコミュニケーションをとり、必要な物が出せる	常に起こり得るリスクを考えながら、最適な行動をとることができる	
術式		大網充填 末梢血管			AVR、Maze OPCAB、TAP	MVR、HAR DVR、MICS-AVR	MVP、Bentall、TVR 冠動脈瘤、VSP	Remodoring 心筋切除	MICS-MVP AVP、MICS-CABG	複合オペやre-do 術中判断が必要なオペ	
取得予定 経験数	見学：1回	見学：1回		見学：1回	見学：1回	見学：1回	見学：1回	見学：1回	見学：1回	見学：1回	見学：1回
	実施：1回	実施：3回		実施：5回 1本脱血2回 2本脱血3回	実施：5回	実施：2回	実施：2回	実施：1回	実施：1回	実施：1回	実施：1回
初級						中級				上級	
2ヶ月						2ヶ月					

### 備考

\*上記はあくまでも目安である。

\*STEP3でも先輩と一緒にre-doの症例や弁置換の弁輪形成や弁輪拡大を伴うオペに入ることができる。